

BEST ENTERTAIN
最上のおもてなし 2



食卓はより美しく優雅に進化する！

インタビュー記事、ポイント解説やこだわりのコーディネートを紹介し、よりすてきな食卓を実現する工夫を満載！プロのテーブルコーディネーターを目指す方へ。

大切なのは、 こわがらずに色に挑戦すること

鮮やかなピンクに寄り添うパープル。神聖な白を上手に締めてくれる赤。甘いローズピンクを引き立てるグレー。

色は組み合わせの中で心地よさを感じます。色に関して、さまざまな研究が昨今取り上げられていますが、色には空間を彩り、居る人の心に働きかける大きな「力」が確かにあると思うのです。例えばブラウンをテーマカラーにしたシックなテーブルコーディネートでおもてなしを、と考えたとき、なんの迷いもなく設えることができるでしょうか。ブラウンひとつあげても、ローズブラウン、コーヒーブラウン、キャメル、グレージュ等々。その選択肢はあまりにも多く、さらにその色とどんな色を組み合わせるかも悩みどころ。そのとき大切なのは『配色調和』。わたしは心地よい色の組み合わせを『色彩理論』で探り、調和のとれた心地よい色でおもてなしの空間を作っていくのです。好みで片づけられてしまいがちな色の話ですが、カラリストは学びの視点を加えます。多くの人の納得と共感を得る色彩理論を習得することで、大胆で自在な色選択が容易になります。わたしは色を学ぶことはすべての方の生活シーンにプラスに働くと確信しています。大切なのは、色をこわがらない挑戦をすること。そして、彩りある幸せな生活を描いていくこと。わたしは、テーブルをつくりながら、ずっと心に入ってくる色調の美の心地よさを『色彩学に基づいたテーブルコーディネート』でお伝えしたいと、いつも思いを込めるのです。

横浜在住のわたしにとって、横浜山手の西洋館の佇まいは特別な存在です。長い歴史のなか、山手の高台から横浜を見守り、現在でもたくさんの来訪者に癒しを与える西洋館。愛すべきエリスマン邸、憧れのベリックホール……歴史的建造物に畏敬を表し、心を込めた空間装飾をお楽しみください。



加美山智絵 Chie Kamiyama

テーブルコーディネーター、カラーコーディネーター

インテリアコーディネーター、建築士を経たのち、海外生活でテーブルコーディネートと出会い、その奥深さに魅せられる。カラリストとしての活動と共に、色の力にこだわる『色彩学に基づいたテーブルコーディネートと空間装飾』の提案を、企業・百貨店・歴史建築物向けに続けている。横浜市にて『季節を大切に作るテーブルコーディネートサロン』を主宰。さまざまな活動を通じて、若い人材の育成にも力を入れている。

<http://rose-pompadour.official.jp/>

Photograph Shuji Nishida

location Ehrismann Residence・Berrick Hall, Yokohama

秋色のテーブル

全体を赤紫系のグラデーションでまとめて、モーブで彩られるパリの風景をイメージ。リモージュ・アビランドのバラ柄プレートに、光を反射するガラスプレート、フランス製の紫のグラスをあわせて。同系色のリボンとランナーで統一感を。

